

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	浜松市根洗学園			
○保護者評価実施期間	令和7年10月17日 ～ 令和7年10月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	79	(回答者数)	42
○従業者評価実施期間	令和7年10月17日 ～ 令和7年12月4日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	7
○訪問先施設評価実施期間	令和7年10月17日 ～ 令和7年11月30日			
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	14	(回答数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校現場や園の状況を理解した上での訪問支援	・学校や園の状況、担任の役割を理解した上で訪問支援を行っている ・訪問先の先生の負担や状況を踏まえながら、取り入れやすい形で助言や提案を行っている。 ・訪問後には必要に応じて保護者や担任と情報共有を行い、支援の共通理解を図っている。	・訪問先施設との関係づくりをさらに深め、相談しやすい関係づくりを進めていく。 ・訪問支援の目的や役割について、訪問先施設や保護者へより分かりやすく伝えていく。
2	幼児期から就学までつながりのある支援	・幼児期の情報を共有しながら訪問支援を行い、子どもの育ちの連続性を大切にしている。 ・入学前から様子を把握し、幼児期の支援内容を踏まえた訪問支援を行っている。 ・年長児については就学を見据え、学校担当職員が訪問する体制をとっている。	・幼児期の担当職員との引き継ぎを丁寧に行い、就学後の支援に活かしていく。 ・関係機関との情報共有を行いながら、移行支援の充実を図っていく。
3	訪問先施設・保護者との連携による支援	・訪問先施設の先生や保護者と情報共有を行いながら支援を進めている。 ・訪問先施設の意向を踏まえ、実践しやすい助言や支援方法を提案している。 ・訪問後には必要に応じて支援内容を共有し、支援の方向性を確認している。	・訪問後の振り返りや情報共有の方法を工夫し、支援内容の理解を深めていく。 ・訪問先施設や保護者との連携をさらに深め、チームでこどもを支える支援を進めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援を担う職員体制の確保	・保育所等訪問支援の利用ニーズが増えている。 ・訪問支援と通園療育の業務の両立が必要である。	・訪問支援に対応できる職員体制の検討を進めていく。 ・訪問支援の役割を担える職員の育成を進めていく。
2	訪問支援に関わる職員の育成	・訪問支援の経験を積む機会が限られている。 ・現場業務との調整が必要である。	・訪問支援のポイントや事例を共有する研修を行う。 ・訪問支援の経験を積める機会を作り、職員の育成を進めていく。
3	訪問支援の理解や情報発信の充実	・訪問支援の内容や役割が十分に伝わっていない場合がある。 ・訪問支援の取り組みを知る機会が少ない。	・訪問支援の目的や支援内容について、保護者や関係機関へ分かりやすく伝えていく。 ・通信やホームページ等を活用し、取り組みの情報発信を行っていく。